様式第１６（第４０条関係）（第一面から第三面まで）

|  |
| --- |
| 認定申請書  申請年月日　 　　2023　年　11　月　13　日    　　経済産業大臣　殿  （ふりがな）かぶしきがいしゃこうのうえん  一般事業主の氏名又は名称 株式会社興農園  （ふりがな）たなかあや  （法人の場合）代表者の氏名 田中　あや 印  　　　　　　　　　　　住　　所　〒860-0845  　　　　　熊本県熊本市中央区上通町8番14号  法人番号　5330001001760  　情報処理の促進に関する法律第３１条の認定を受けたいので、下記のとおり申請します。 |
| 記  情報処理システムの運用及び管理に関する指針に関する取組の実施状況  　(1) 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」 | | 公表日 | 2023年　10　月　18　日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」  <http://kounouen.co.jp/news/%e3%80%8cactions-for-dx-2023%e3%80%8d%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%82%92%e7%ad%96%e5%ae%9a%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%e3%80%82/>  トップメッセージ（１ページ）  「Actions for DX 2023」の全体像（２ページ） | | 記載内容抜粋 | ■トップメッセージ（１ページ）  農業界においては高齢化や労働者不足、原料高騰、大規模自然災害など生産者をとりまく環境が厳しさを増す一方、世界の人口増加や食料不足、戦争、環境の変化、安全・健康志向上昇に伴い、農業の付加価値は高まりつつあります。特に気候変動や環境保全への対応は急務であり、食料の安定的供給の観点からもSDGsの取組みや「みどりの食料システム戦略」の推進が求められています。  　また、近年のデジタル技術の急速な発展により、あらゆる産業が技術革新の最中にあります。農業においてもデータ分析・センサー・ドローン・AI等のデジタル技術の活用により生産性が飛躍的に向上していくものと認識しています。  　加えて、「育児や介護と仕事を両立しながら働きたい」「自分らしさを生かしながらキャリアアップしたい」「働きがいのある職場で幸せに働きたい」など、個人の働く目的・ワークモチベーション・働く場所や時間の希望は多様化しています。  　データやデジタル技術を積極的に活用して生産性の向上・新たな価値の創出・お客様や社員をはじめ当社と関わるすべての人々が身体的・精神的・社会的によく生きられる（Well-being）環境づくりが重要であると考えています。  　これら変化に対応し、「利他利還」を実現するためには、データとデジタル技術の活用による変革が必要であると考えます。    ■「Actions for DX 2023」の全体像（２ページ）  （DXビジョン）  ・持続可能な農業の実現  　当社試験農場で得られたデータを分析し地域へ還元することで、より効率的な生産方法、より付加価値の高い有機農業の普及など、地域全体で持続的な農業の発展を目指します。  ・ウェルビーイングの実現  　データやデジタル技術を活用して、お客様や社員をはじめ当社と関わるすべての人々が身体的・精神的・社会的により良く生きられる状態（Well-being）を目指します。  （実現の方向性）  ・生産者の収益向上  　永年当社で培ったノウハウや研究データを活用し、高い付加価値を生む商材や技術の提供およびブランディング等のコンサルティングによって、生産者様の収益向上に貢献します。  ・生産性向上  　生産者様および当社社員の心身に負担が生じる業務を機械化・自動化するとともに、業務プロセスを改善することで生産性を向上し、持続可能な農業およびウェルビーイングを実現します。  ・働きやすい環境づくり  　データやデジタル技術を活用することで、安全・安心な職場環境に加え、社員一人ひとりが能力を最大限発揮し、働きがいを感じることで幸福度が高まるような職場づくりを実現します。 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 上記は取締役会の承認を得た内容です。 |   (2) 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」 | | 公表日 | 2023年　10　月　18　日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」  <http://kounouen.co.jp/news/%e3%80%8cactions-for-dx-2023%e3%80%8d%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%82%92%e7%ad%96%e5%ae%9a%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%e3%80%82/>  DX戦略（３ページ） | | 記載内容抜粋 | ■DX戦略（３ページ）  １．データ・ノウハウを活用した商材開発・営農支援  ・当社試験農場の研究データ活用  - これまで蓄積した研究データの分析による新しい商材や栽培技術の開発  - 研究データ分析により得られた新しい栽培などのノウハウを「栽培環境制御システム」を通して生産者へ提供  ・デジタルチャネル活用  - SNSやWeb動画等での農業情報発信  - 商材ブランディングやインターネット販売のノウハウ提供  ２．システム活用による業務効率化  ・クラウドシステムの利用拡大による業務効率化  - 経費精算や人事労務管理等バックオフィス業務へのクラウド活用  - 入出力業務へのAI-OCRやRPA活用  - トラック配送ルート算出へのAI活用  ・サプライチェーン全体の受発注業務効率化に向けたEDI連携先の拡大  ３．社員の希望等の把握と多様な働き方の推進  ・社員が自由に意見を出し合う「カイゼン」活動の活性化と意見の集約・分析・実行  ・社員面談結果や社員アンケート結果のデータベース化による価値観、キャリアプラン、悩み等の把握と分析  ・リモートワーク環境整備、社内コミュニケーションツール整備による多様な働き方の推進 | | 意思決定機関の決定に基づいていることの説明 | 上記は取締役会の承認を得た内容です。 |   　　① 戦略を効果的に進めるための体制の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」  <http://kounouen.co.jp/news/%e3%80%8cactions-for-dx-2023%e3%80%8d%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%82%92%e7%ad%96%e5%ae%9a%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%e3%80%82/>  組織／人材・制度／IT環境（４、５ページ） | | 記載内容抜粋 | ■組織／人材・制度／IT環境（４ページ）  組織（４ページ）  ・DX推進室の新設  - 「DX推進室」を新設し、各部横断的にDX戦略を推進  ・外部組織との連携  - 大学と連携し当社試験農場で得られたデータを分析することで分析精度を高度化  - ITベンダーと協業してシステム開発を行うことで、高度な開発スキルの獲得  人材・制度（５ページ）  ・IT人材積極採用・育成  - データ分析やセキュリティ等の専門知識を有したIT人材の積極的採用  - 社員の専門知識習得およびリスキリングに向けた大学院通学費用の会社負担  - ITベンダーとの共同開発を通したIT人材の育成  ・スキル・キャリアアップ支援  - ITパスポート等の資格取得による、全社的なデジタルスキルの底上げ  - 女性管理職の積極的な登用や女性営業社員、女性の農場リーダーの育成による女性活躍推進  - 社員面談やアンケートによって得られた価値観・キャリアプラン・ワークライフバランス希望等を踏まえた人員計画  ・ワークライフバランスのサポート  - デジタル活用で実現する働き方改革（テレワーク、時短勤務、時差出勤等）  - 健康経営の推進と福利厚生の充実（社員食堂での有機野菜を使用した昼食の無償提供等）  - 協会けんぽ事業所カルテを活用した健康経営の定量的な把握 |   　　② 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策の提示   |  |  | | --- | --- | | 戦略における記載箇所・ページ | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」  <http://kounouen.co.jp/news/%e3%80%8cactions-for-dx-2023%e3%80%8d%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%82%92%e7%ad%96%e5%ae%9a%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%e3%80%82/>  組織／人材・制度／IT環境（５ページ） | | 記載内容抜粋 | ■組織／人材・制度／IT環境（５ページ）  IT環境  ・システムインフラの整備  - 安定した通信品質の確保に向けた社内通信基盤の再整備  - 社内システムとクラウドシステムを安全に接続するためのデータ連携基盤整備  ・データ分析環境の構築  - 各種データを蓄積するためのデータベース環境整備  - データ分析を可能とするソフトウェア（BIツール等）整備  ・セキュリティの強化  - 侵入検知システムの導入等、社内ネットワークの監視強化  - 情報資産保護に向けた運用ルールの整備 |   (3) 戦略の達成状況に係る指標の決定   |  |  | | --- | --- | | 公表媒体（文書等）の名称 | 株式会社興農園 　Actions for DX 2023 | | 公表日 | 2023年　10　月　18　日 | | 公表方法・公表場所・記載箇所・ページ | 「株式会社興農園Actions for DX 2023」  <http://kounouen.co.jp/news/%e3%80%8cactions-for-dx-2023%e3%80%8d%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%82%92%e7%ad%96%e5%ae%9a%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%e3%80%82/>  成果指標（６ページ） | | 記載内容抜粋 | ■重要な成果指標（６ページ）  ・生産者の収益向上  - 生産者への栽培環境制御システム提供件数：５０件／年  - デジタルチャネルを活用した情報発信件数：７０件／年  ・生産性向上  - 「カイゼン」の実現件数：７５件／年  ・働きやすい環境づくり  - 協会けんぽ事業所カルテ項目のうち「従業員の生活習慣のリスク」評価：全てB以上 |   (4) 実務執行総括責任者による効果的な戦略の推進等を図るために必要な情報発信   |  |  | | --- | --- | | 発信日 | ①2023年　10　月　18　日  ②2023年　10　月　17　日 | | 発信方法 | ①「株式会社興農園Actions for DX 2023」  <http://kounouen.co.jp/news/%e3%80%8cactions-for-dx-2023%e3%80%8d%e5%9f%ba%e6%9c%ac%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%82%92%e7%ad%96%e5%ae%9a%e3%81%97%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f%e3%80%82/>  トップメッセージ（１ページ）  ②ココクマ　熊本の未来をつくる経営者  「利他利還」の徹底で「人を幸せにする経営大賞」受賞した、株式会社興農園の田中社長  <https://cckuma.com/theory/株式会社興農園田中あや/> | | 発信内容 | ①トップメッセージ（１ページ）  「利他利還」  お客様に利を供することで、共に発展し農業の振興に貢献する。  　創業時は終戦直後の食糧不足の時代で「農業を興す」という志が社名になりました。その想いは「利他利還（利を他社に供すれば、利は自らに還る）として受け継がれています。社員一人ひとりが行動し、農業を通じたサービスを追求することで自然と調和した豊かな地域農業の発展に積極的に貢献することを使命としています。  　農業界においては高齢化や労働者不足、原料高騰、大規模自然災害など生産者をとりまく環境が厳しさを増す一方、世界の人口増加や食料不足、戦争、環境の変化、安全・健康志向上昇に伴い、農業の付加価値は高まりつつあります。特に気候変動や環境保全への対応は急務であり、食料の安定的供給の観点からもSDGsの取組みや「みどりの食料システム戦略」の推進が求められています。  　また、近年のデジタル技術の急速な発展により、あらゆる産業が技術革新の最中にあります。農業においてもデータ分析・センサー・ドローン・AI等のデジタル技術の活用により生産性が飛躍的に向上していくものと認識しています。  　加えて、「育児や介護と仕事を両立しながら働きたい」「自分らしさを生かしながらキャリアアップしたい」「働きがいのある職場で幸せに働きたい」など、個人の働く目的・ワークモチベーション・働く場所や時間の希望は多様化しています。  　データやデジタル技術を積極的に活用して生産性の向上・新たな価値の創出・お客様や社員をはじめ当社と関わるすべての人々が身体的・精神的・社会的によく生きられる（Well-being）環境づくりが重要であると考えています。  　これら変化に対応し、「利他利還」を実現するためには、データとデジタル技術の活用による変革が必要であると考えます。  　そこで私たち興農園は、「利他利還」の理念を継承しつつ、データを活用した新商材・ノウハウの提供などを通した持続的な農業発展への貢献と、当社と関わるすべての人々のWell-beingを目指したDX計画「Actions for DX 2023」を策定しました。今後、計画内の各戦略の推進状況について、HP上にて随時発信していく予定です。この計画を着実に実現することで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。  株式会社興農園  代表取締役社長　田中 あや  ②キャリアマガジン「ココクマ」の対談記事の中で、社長自らが戦略に関する情報発信を行っております。  ・ウェルビーイングを掲げ、社員の幸福を追求している  編集部：IT導入にも積極的なのですね。  田中社長：現在は受発注から在庫管理までを一元管理する基幹システムを導入し、事務処理のスピードが格段に上がりました。またEDI連携により、企業間の取り引きを紙からデータへ変更し、記載ミスの減少や省力化が進みました。直近では倉庫内にWi-Fi環境を構築し、ハンディターミナルでの在庫管理も始めたところです。 |   　(5) 実務執行総括責任者が主導的な役割を果たすことによる、事業者が利用する情報処理システムにおける課題の把握   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2023年　9月頃　～　継続中 | | 実施内容 | 「DX推進指標自己診断フォーマット」を活用した自己診断を行い、自社のDX成熟度における課題を把握しました。自己診断結果は、IPAの自己診断結果入力サイトにアップロードしました。 |   　(6) サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施   |  |  | | --- | --- | | 実施時期 | 2023年　9月頃　～　現在継続中 | | 実施内容 | 当社は情報セキュリティ基本方針を制定し、SECURITY ACTION制度に基づき自己宣言（二つ星）を実施しています。 |   （注）(1)～(3)の取組において公表先のURLを提出しない場合は次の①の書類を、(4)の取組において情報発信内容を確認できるウェブサイトのURLを提出しない場合は、次の②の書類を添付すること。また、必要に応じて③、④の書類を添付できる。  ①　(1)～(3)の取組における、公表を行っていることを明らかにする書類（公表先のウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ②　(4)の取組における、情報発信を行っていることを明らかにする書類（情報発信内容を確認できるウェブサイトの画面を印刷した書類等）  ③　(1)の取組における企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性、(2) の取組における戦略を補足説明するための書類（最新の情報処理技術の変化による影響を踏まえた観点から決定していることを説明する書類等）  ④　(5)～(6)の取組における、実施内容を補足説明するための書類 |

備考．用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

様式第１６（第４０条関係）（第四面）

（記載要領）

１．「申請年月日」欄は、経済産業大臣に認定申請書を提出する年月日を記載すること。

２．「一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所」欄は、氏名については、記名押印又は自筆による署名のいずれかにより記載すること。一般事業主が法人の場合にあっては、住所については主たる事務所の所在地を記載すること。

３．一般事業主が法人の場合であって法人番号が記入されている場合は、一般事業主の氏名又は名称、代表者の氏名、住所の記載を省略することができる。

４．申請内容は正しく記載すること。認定後、虚偽または不正の申請を行ったことが判明した場合には、認定の取消し等所要の措置を講ずることがある。